

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立鳳南小学校
校長 堀本 純平

中学校区におけるめざす子ども像

思いやりをもち、自分も他の人も大切にし、認め合える人

令和8年度 重点目標

学校教育目標を「自分の成長を感じる子どもの育成～豊かな心・主体的な学び・たくましく生きる力～」重点目標を「主体的・協働的に学習に取り組み、学びの深い授業作りに努める。」、「清掃活動・挨拶運動・読書活動の推進に努める。」、「運動面・文化面において様々なことに挑戦する機会を設定する。」とし、その実現に向け、「主体的・対話的な学び、深い学び」の確立と「個別最適な学び」に係る授業改善に取り組む。また、清掃活動・挨拶運動・読書活動の推進に努め、運動面・文化面において様々なことに挑戦する機会を設定し、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進する。中学校群の取組については、教育連携を密にした「つながる教育」を推進し、家庭・地域との連携を深め、「ひろがる教育」の充実を図る。

「確かな学び」の現状

本校では、これまで「主体的に学ぶ子どもの育成～自ら学びを進め、粘り強く取り組む子～」を研究主題とし、「主体的な学び」、「個別最適な学び」という視点からの授業研究を推進し、総合的な学力の育成に努めた。研究の成果として、これまでの全国学力・学習状況調査等における本校児童の平均正答率をみても良好な結果であることが認められる。また、質問紙の集計から、これまでの課題であった「自己有用感の醸成」についても向上していることが認められる。「主体的でねばり強い子どもの育成」については、本校実施の児童及び教員を対象としたアンケートの設問である「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦しているか」、「やると決めたことは最後までやりとげようとしているか」を評価基準とした。その結果はそれぞれ肯定評価 88%、92%と目標を上回り、達成することができた。課題は「自分で学び方を考え、工夫すること」であり、今まさに求められている「主体的に学ぶ力」の育成である。次年度は把握した課題の解決のため、授業について一層の改善を図り、質の高い授業を児童に提供する。各授業では、ICTの活用や具体物の操作等、視覚に訴え、体験的に学ぶことのできる授業を展開し、子どもが自らの興味に基づき、見通しを持って、他者との協働や情報収集を通じ、考えを深める学習場面のある授業において「主体的・対話的な学び、深い学び」の確立と「個別最適な学び」の実現に取り組む。また、ICTの活用、体験的授業、地域協働による学習に取り組み、児童の豊かな心の教育と健康教育の充実に努める。

「豊かな心・健やかな体」の現状

昨年度、「豊かな心」の育成のため、人権教育・読書活動・学級経営・道徳教育の推進に努めた。取組を評価する際、その達成基準を、児童及び教員へのアンケートの設問である「学校には、安心できる場所がある」、「安心ルールを用いた学級経営を通して、子どもたちが互いに認め合い、どの子も安心できる集団づくりがにに取り組む事ができたと思う」とした。この設問については、それぞれの肯定評価が92%、94%と目標数値を上回った。「図書以外の時間以外で、進んで本を読みますか」の設問については、わずかに目標達成することはできなかった。「健やかな体」の育成については、運動や健康面に関する取組に対する評価基準を「体育の授業で十分に体を動かすことができた」、「朝食を食べることは大切だと思う」とした。この設問についても、それぞれの肯定評価が96%、98%と目標数値を大きく上回った。「保健目標を意識している」の設問については、わずかに目標達成することはできなかったものの「豊かな心・健やかな体」の育成に係る授業づくりが効果的に行うことができていると考える。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (9～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	子どもが考える授業を展開し、資質・能力の育成を図る	●総合的な学力の育成 (1) 校内授業研修を通じたさまざまな教科の資質・能力の育成のための授業づくりを推進 (2) 校内研修・自主研修を通して教員のスキルアップを図る (3) ともに考え、ともに学ぶ力の育成	(1) 教職員アンケート (肯定評価90%以上) (2) 教職員アンケート (肯定評価80%以上) (3) 教職員アンケート 児童アンケート 全年：グループやペアで話し合っ て問題を解決する。 (肯定評価 80%以上)	研究授業の実施 教師アンケート	2学期 ～年度末	(1)		○
			ICTの活用 (1) 情報モラル授業の実施 (2) 情報活用能力を高める授業づくり	(1) 実施できたか(肯定95%以上) (2) 低学年：発表ノートで図や写真を入れて発表することができる 中学年：動画や写真を撮って発表ノートで伝えることができる 高学年：パワーポイントでスライドを作ることができる (肯定評価 80%以上)	児童アンケート	2学期 ～年度末			
	学びの基礎力	家庭学習の充実	家庭学習の定着を図るようにする	「家庭学習の際、主体的に様々な学習に取り組むことができる」 (児童アンケート80%以上)	児童アンケート	2学期 ～年度末			

豊かな心 健やかな体	豊かな心の育成	自分も他の人も大切にし、認め合える子どもの育成	★安心・安全な学習環境づくり (1) 一人ひとりに即した児童理解をおこなう。 (2) 対話を通して互いのよさを認め合える学級経営をおこなう。 (3) 校内研修を通して教職員の人権感覚を高める。	(1) 教職員アンケート・・・子どもの特性にあわせた声掛け・対応をおこなった 肯定評価90%以上 (2) 教職員アンケート・・・安心ルール・聞き方あいうえおを用いた学級経営を通して、子ども同士がつながるような集団づくりに取り組んだ 肯定評価90%以上 児童アンケート・・・学校に行くのが楽しいですか 学校には、安心できる居場所がありますか 肯定評価90%以上 (3) 教職員アンケート・・・校内外研修・自己研修を通して人権感覚を磨いた 肯定評価90%以上	(1) 教師アンケート (2) 教師アンケート 児童アンケート (3) 教師アンケート	2学期～年度末					
		読書活動の推進 (1) 図書の日 (2) 朝の読書活動 (3) PTA 読み聞かせ	「図書の日以外で、進んで本を読みませんか」 肯定評価80%以上	児童アンケート	2学期～年度末						
		道徳教育を推進し、豊かな心を育成する	児童アンケート 「道徳や学級活動を通して、いじめは絶対にあってはいけないという意識をもつことができた。」 肯定評価90%以上	児童アンケート	2学期末						
		(1) 児童一人ひとりの状況に応じた学びの支援、登校支援について、連携し、推進する。 (2) 安心安全な学校をめざして、環境を整えようとする児童を育成する。	教職員アンケート 「児童一人ひとりの状況に応じた学びの支援、登校支援について、他の教職員や専門機関等と連携しながら、取り組んだ。」 肯定評価90%以上 児童アンケート 「生活目標を意識して行動しようとしている。」 肯定評価80%以上	(1) 教職員アンケート (2) 児童アンケート	2学期～年度末						
	健やかな体の育成	運動の楽しさを感じ、自ら取り組む子の育成	なわとびカードの活用や、リズムなわとび等の実施など、様々な運動に触れる機会を与える	「運動やスポーツをした後に気持ちよさや達成感を感じることがある。」 肯定評価85%以上	児童アンケート	学期ごと					
		十分な運動量を確保する授業づくりを行う	「体育の授業で、十分に体を動かすことができた。」 肯定評価90%以上	児童アンケート	2学期～年度末						
		自分の心身の健康状態や発育に関心を持ち、自分の生活を振り返り、適切に行動できる児童の育成	「ほけんだより」等を活用し、健康安全な学校生活を送れるように啓発する	はやね・はやおきなど規則正しい生活リズムで生活することは大切だと思う。 肯定評価 85%	児童アンケート	2学期末					
		食べ物や食事に興味・関心をもって食べることができる児童の育成	朝食を食べることの大切さを知り朝食を食べようと意識できるよう、給食や授業、給食だよりや食育だよりを通じた取り組みを行う。	朝食を食べることは大切だと思う 肯定評価85%	児童アンケート	2学期～年度末					
	独自の課題	地域協働	学校情報を積極的に発信するとともに、ひろがる教育・つながる教育を推進する	(1) 学校ホームページ (HP) や各種通言等を活用し、教育活動の現状や成果の発信を努める (2) 家庭・地域と連携・協働した学校づくりを推進する	学校ホームページを毎日更新する 学校教育アンケートで肯定的評価【80%以上】	学校教育アンケート 実践報告	2学期末				
	校長より (年度末)							学校関係者評価者から (年度末)			